

SBI生命 全疾病保障する団信

地域銀、都内信金と関係構築

SBI生命が団体信用生命保険、団体信用就業不能保障保険を投入して地域銀行や都内信金との

関係を強化している。全疾病を保障する商品で現在は住信SBIネット銀行で取り扱う。保険料率の低さ、保障範囲の広さなどが訴求点。

住宅ローン契約時には、返済中に契約者が死亡、高度障害の際に保険金を債務残高に充当できないいわゆる団信への加入が義務付けられる。

住宅ローン市場はネット銀行も含め競争が激化。金利競争にも限界があり、手続きの容易さやサービスの充実度が差別化につながる。団信の保

障の拡充もその一つだ。

保障拡充商品は一般的に三大疾病や八大疾病保障付きが多く、保険料も住宅ローン金利への上乘せり金利に内包されるなど金融機関で異なる。

SBI生命の団信就業不能保障保険は「働けないうリスク」に着目。精神疾病以外のすべての病気、けがで就業不能状態になった際に就業不能保険金を月々のローン返済に充てられる。就業不能状態が2年間続いた場合に残債を一括返済する特約もある。

団信は余命6カ月以内の診断で保険金を返済に充てられる、ガンで全ての治療を受けたが効果が無かったと判断された際に償務がゼロになる、と

いった特約の充実が特長。先進医療技術料の負担保障もある。6月に完。従来の終身医療も定期保険に加え、主力商品に育っていく。